

平成25年度第1回魅力ある農業・農山村づくり検討委員会 議事録

1 日 時 平成25年7月19日（金）8時30分～16時00分
2 場 所 寄居町中間平地区・里の駅アグリ館・本庄市小和瀬地区

3 出席者

(1) 委員

島田恵司・青木隆人・高橋優子・高野茂代・中山健太郎・平井一男

(2) 県

高山次郎（農林部長）・篠崎豊（農業ビジネス支援課長）・鈴木紀之（農村整備課長）

(3) 事務局

（農業ビジネス支援課）松本主幹・角田主任

（農村整備課）高橋主幹

4 主 催 埼玉県

5 概 要

(1) 開 会 松本主幹

(2) あいさつ

ア 高山農林部長

イ 島田会長

(3) 中山間地域等直接支払制度中間年評価について

○ 篠崎農業ビジネス支援課長から県及び国の評価結果の概要について説明。

○ 質疑等

・島田 会長 中山間地域の支援も耕作放棄地の解消につながるが、現在の耕作放棄地はどれくらいか。

・篠崎 課長 県全体の耕作放棄地は3,585haあり、年間300ha程度を解消している。しかし、新たに放棄地が発生することから耕作放棄地全体の面積は増加傾向にある。

(4) 寄居町中間平地区での意見交換

○ 中間平地区の中山間地域等直接支払制度への取組状況について、寄居町小林農林課長及び吉澤代表等から説明。

○ 質疑等

・青木 委員 エキナセアのマドレーヌ等が販売されているとのことだが、どのように加工されているのか。

・寄居町職員 葉の部分を伝統的な日本茶の製法で乾燥茶葉とし、さらに粉末化したものを練り込んで加工している。

・高橋 委員 エキナセアの効能はどのようなものか。

・事 務 局 免疫や解毒機能があるとされている。

・青木 委員 中間平の圃場以外で、エキナセアは栽培されているのか。

・中間平集落 個人で栽培されている他、鑑賞できるように「アグリ館」周辺においても栽培されている。

・寄居町職員 当集落の働きかけなどにより認知度が高まり、他の集落での栽培も徐々に広がっている。

(5) 寄居町里の駅アグリ館での意見交換

- アグリ館の概要及び中間平地区等の梅やエキナセアを活用した農産加工品づくりについて、黒瀬事務局長から説明。
- 質疑等
 - ・高野 委員 施設整備費はどれくらいか。加工組織のメンバーは何人か。
 - ・黒瀬 局長 約1億3千万円で、加工組織は33名で構成している。
 - ・島田 会長 運営はNPO法人が行っているとのことだが、技術のある従業員をどのように集めることができたのか。
 - ・黒瀬 局長 地元で和菓子やパンを長年作っていた方に声をかけた。従業員は地域の味をより多くの人に伝えたいという思いを持って携わってくれている。
 - ・中山 委員 従業員の技術と導入した設備のミスマッチはないのか。
 - ・黒瀬 局長 従業員のスキルに機械が追いつかない状況であるため、県の事業を活用してもらい設備を充実させる予定でいる。

(6) 本庄市小和瀬地区での意見交換

- 小和瀬地区の農地・水保全管理支払交付金制度への取組状況について、矢島会長から説明。
- 質疑等
 - ・島田 会長 農地・水保全管理支援事業が始まる前から耕作放棄地を解消しようとする気運があったのか。
 - ・矢島 会長 気運はなかった。市農業委員会で耕作放棄地を解消するための独自予算もなかった。個人負担での対応では難しく、たまたま農地・水保全管理事業を知った。
 - ・平井 委員 不在地主の農地や遊休農地が解消された農地を今後どのようにしていくのか。
 - ・矢島 会長 基盤整備に向けての推進を行っており、準備会ができてアンケートを実施し地元の意向を把握しているところである。
 - ・島田 会長 ボランティアとの出会いはどういう方法で行ったのか。
 - ・飯塚 書記 別に活動していたNPOから募集した。

(7) 総合的な意見交換

- 高山農林部長の進行で総合的な意見交換を実施した。
- 意見の概要等
 - ・平井 委員 小和瀬地区の耕作放棄地対策は、ボランティアも参加するなど熱心で感心した。
 - ・高山 部長 中間平地区及びアグリ館を含め、キーマンが効果的に地元を取りまとめている。
 - ・島田 会長 人間関係がうまく回り、キーマンもうまく回っていた。
 - ・青木 委員 秩父市の布里田中地区でも中山間地域等直接支払制度と農地・水保全管理支払交付金制度の両方に取り組んでいる。
リーダーがいれば取り組みは進められる。また、次代のリーダーをつくることも大事である。
小和瀬地区では群馬県と連携して取り組んでいたことも特長がある。
 - ・島田 会長 群馬にまたがっていたので地元の本庄市も手を出せなかったのだろう

- が、地元が率先して取り組んだ。
- ・中山 委員 最後は「人」である。農業や地域に後継者をつくることが大切である。そしてその後継者をつくることが重要である。
 - ・高野 委員 地域の農業委員は現地を知っていてどんなことをするのがよいか理解していることがすばらしい。行政も含めて現地をよく見て互いに考えていくのがよい。
 - ・高橋 委員 キーパーソンがいて地域は動く。小川町にも金子さんというリーダーがいる。リーダーとその支援者が協力することが重要であり、小和瀬もそのような体制で動いていた。
地域のキーパーソンとなる人材育成を県にやってほしい。
 - ・高山 部長 行政は先生にはなれない。地域から教わりながら、ともに成長していく。
 - ・島田 会長 行政の情報が地元にもうまく伝わっているかが問題である。行政が地元のニーズ等をうまく取り上げるとうまく流れていく。
 - ・高山 部長 町づくりや地域づくりの答え（模範解答）はないが、井の中の蛙ではいけない。

（時間となり意見交換を終了とした。）

(8) 閉 会